

島根県立大東高等学校 おいべ通信

Oribe's Newsletter



地域とともに歩む学校づくり

令和8年3月1日に挙行した島根県立大東高等学校第78期生63名の令和7年度卒業式では、「できることを増やす挑戦」を続けた卒業生たちの成長を讃えました。部活動や学園祭、苦しい進路選択を経て自信を深めた卒業生に対し、AIの進化や不確実な社会で「**正解のない人生**」を切り拓くための指針を示しました。

式辞の中では、『効率を重視する「タイパ」に流されず、時間をかけて他者との対話や自己内省を重ね、「自分らしさ」という軸を磨く大切さ』を説きました。また、高村光太郎の詩「道程」を引用し、自らの選択と前進こそが後に道を創るのだと力強く励ましました。

最後に、地域に支えられた高校生活を振り返り、卒業後も「絆」を大切に母校や地域を応援する存在になってほしいと願いを込めました。

未知の舞台へ踏み出す卒業生たちの可能性を信じ、さらなる挑戦と幸福な人生を祈念いたします。



校長 平井 孝

令和8年3月24日の3学期終業式では、生徒たちがこの1年間で「できること」を増やした歩みを振り返りました。成長には、検定合格や部活動の成績といった**数値で目に見えるもの**だけでなく、生活習慣の改善や将来を具体的に考え始めるといった**気づきにくい内面的な変化**も含まれており、それらを改めて自己省察するよう促しました。また、人間は本能で動く昆虫とは異なり、失敗を含めた経験を積むことで一人前になる哺乳類であることを説きました。特に、**16歳から17歳の時期は、脳の大きさが成人に達し、知識や経験の蓄積が思考や行動を劇的に変えるため**、若いうちは変化や成長が非常に大きい時期であると伝えました。具体的な挑戦の例として、親元を離れた自立生活や、鹿児島県から入学した生徒が外部の視点で地域の挨拶や大人との繋がりの魅力を再発見したエピソードを挙げ、他者から見た成長の確かさを示しました。

次年度に向けては、「こうなっていたい自分」を思い描き、そこから**逆算して今やるべきことを考える重要性**を強調しました。新学年への移行期を、水鳥の助走やジャンプ前の「タメ」に例え、春休みの2週間を準備期間とするよう助言しました。「成功の反対は失敗ではなく、何もやらないこと」という言葉を贈り、自らの可能性の芽を摘まずに本気で挑戦し続けるよう、生徒たちを力強く激励しました。

人権教育（後期）

大東高校では、人権教育の重点目標を掲げ、生徒・教職員が一緒になって、「人権とは？」を考え、学びを深めています。

毎学期学年ごとでテーマを据え、HRやいろいろな教育活動の時間を通して、『知る・考える・実践する』を生徒・教職員が一体となって取り組んでいます。

学校生活ではあらゆる他者と協働しますが、**多様性を認め自他を尊重する生徒**を育てていきたいと思えます。

《人権HR実施テーマ（学年別）》

1年生：性の多様性について / 2年生：差別をなくすためには / 3年生：結婚差別について考える

《毎年取り組んでいるピンクシャッターとは？》

ピンクシャッターは、ピンクシャツを着たりピンク色のものを身に着けることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。

「ピンクシャッター」は、2007年にカナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。

このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上で、いじめに反対する活動が行われています。

今年度はPTAの皆さまと一緒に、啓発運動を実施しました！！



大東高校マスコット おいべちゃん

総合探究@大東高校

地域(他者)のために行動する「**地域パートナー探究**」の活動をまとめ、地域パートナーさんからの学びや自分たちへの提案などを発表し、「**表現力**」を身につける機会となりました。

また、他グループや他学年の探究学習の成果発表を聞くことで、「**広い視野**」も持つとともに、質疑応答をすることで相互に「**思考力の深化**」を図ることができました。

当日は悪天候の中でしたが、地域パートナーの皆様をはじめ、多くの方にご来校いただき、大変有意義な協働学習ができました。

ありがとうございました！

大東高生と県立大学の連携

本校OGで島根県立大生の加武さんと地域文化部ボランティア部門が2カ年にわたり協働研究した成果を「**高大連携活動報告会**」として報告しました。

加武さんには「**高校生の主体性**」を引き出していただきながら、企画運営を通して成長する高校生の様子やご自身の手応えなどもお話いただきました。

ありがとうございました！



学校での1コマ

今学期は、新年早々の地震や大寒波・豪雪にも見舞われましたが、「**たくさんの協働活動**」を展開することができました。3月15日には、「英語コミュニケーション」の授業の一環で本校より8名が『SDGs未来甲子園-山陰大会』に参加し、「**さんれいフーズ賞を受賞**」をしました!!

また、「【高2留学】雲南市スペシャルチャレンジ活動報告」「【生徒会】ピンクシャツデー運動」「【野球部】スポ少野球教室」「【レスリング】創部初年で全国選抜レスリング大会出場」をはじめ、「**大東高生が自他ともに学び深め合うシーン**」でいっぱいでした。

今は、決して大人数ではありませんが、失敗や苦難もなどを体験しながらも「**学びや小さな成功体験を積み上げる生徒と大東高校**」を、引き続きHPなどでも発信していきますので、是非ご覧ください!!



大東高校ホームページ



大東高校Facebook



Topic

広島大学協働 最先端科学セミナー

■ 2年生理科(物理)の授業の一環で、「**広島大学放射光科学センター協働 最先端科学セミナー**」を3月19日に実施いたしました!

■ 本校2回目となる広島大学-生天目(なまため)教授と協働で行うオンライン型セミナーで、教科での利用だけでなく、

“**専門人材による教職員研修**」「**高大・専門機関との連携**”

など、サイエンスの考え方はもちろん、ICTやAIを活用して光をアナログ・デジタルの両面で視覚的・体験的に学びました。

特に、「身近なドリンクの蛍光・吸光度測定」は、ソフトを用いてグラフ解析もでき、一同大盛り上がりでした!

■ 今回は、事前事後に生徒の疑問などをAIテキストマイニングで集約し、

“**個別最適に授業展開・振り返る**”など他教科の授業づくりにも応用できそうな取り組みも実践してみました。

今後も、**大東高校の学びを増進**していきます!!



↑新聞にも掲載されました!!



大東高校
マスコット
かったくん